



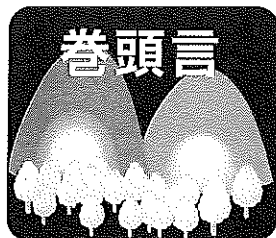
子ども樹木博士 ニュース

2016 - 9

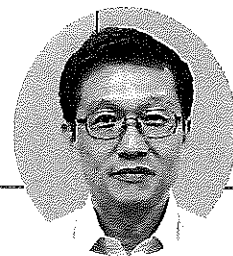
No. 64

子ども樹木博士認定活動推進協議会

巻頭言



学校の森・子どもサミット



林野庁国有林野部経営企画課国有林野総合利用推進室長 林 視

本年 8 月 4 日に「学校の森・子どもサミット」夏大会が宮城県仙台市で開催され、子供たちの元気一杯な発表がありました。このサミットは、平成 19 年に「学校林・遊々の森」全国子どもサミット」として始まり、平成 26 年度から現在の形に変えて 3 回目となるものです。時間の制約から参加校が絞られてしましますが、全国各地から集まった子供たちが、身近な自然や森林を利用した体験・教育活動を発表し、有識者や先生による意見交換を行い、発表後のワークショップや翌日の森林体験活動等で交流を深めるもので、子供たちの生きる力を育み、森林環境教育の輪を広げることを目指しているものです。「サミット」と言いますが必ずしも頂点ということではなく、コンクールのように優秀校を表彰するという事もししていません。

北海道から鹿児島まで全 11 校、それぞれ学校の特色を活かした立派な活動報告でした。その中の一つ、仙台市立南材木小学校は、仙台市の中心部に位置し、他の学校が学校林や学校近隣の森林をフィールドとして活動をしているのに対し、近くにフィールドがないという中での活動報告でした。先生の話によると、苗の植え方を知らない生徒や、極端に虫を恐れる子供た

ちもいて驚いたということでした。

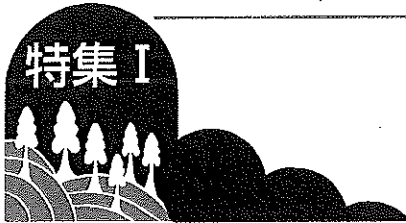
そのため、この学校では、学校内の空間を見つけて樹木を植え、身近なところに「学校の森」を作るという活動を始めたということです。自分たちで植えた樹木に樹名板を作り、池を掘って水生生物を観察したり、活動内容も年々充実してきます。また、植えた植物にチョウやトンボが集まり、校庭が変化してきていることを児童も実感し、教師や保護者の理解も深まっているという内容でした。校庭に「学校の森」を作るという試みはとてもユニークで都市部にある多くの学校の参考になると感じました。

また、どの学校にも共通しているのは、学校内だけでなく、森林インストラクター、森林組合、森林管理署、地域の専門家等外部の方々と一緒に取り組んでいることでした。先生方がカリキュラムや時間の確保に苦勞されていることなど、教育の門外漢から見ても気づかなかった苦勞や工夫などがあることもよく分かりました。

子どもや教育関係者だけでなく、林業分野の方にもとても参考になる大会です。今年度からは年 2 回開催されますので、是非機会があれば御参加下さい。

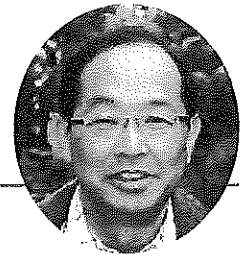
【目次】

巻頭言	学校の森・子どもサミット	林野庁国有林野部経営企画課国有林野総合利用推進室長 林 視	… 1
特集 I	森のエピソード(6) —マツ—	森林インストラクター 小菅 智彦	… 2
特集 II	観察会テンバリ日記(2)	森林インストラクター 樹木医 岩谷 美笛	… 3
事例報告	大人もいっしょに楽しむ—子ども樹木博士認定活動—	NPO 法人森林インストラクターしずおか 藤田 久男	… 4
シリーズ I	樹木名の話(2) —どんぐりは帽子をかぶるか—	森林植物研究者 埜田 宏	… 5
シリーズ II	東南アジアの木々たち(32) —身近になった Tropical fruits—	自然と植物の観察会 TREECIRCLE 梅本 浩史	… 6
子ども樹木博士質問コーナー(44)	茨城県植物園緑のインタープリター・森林インストラクター	堀内 孝雄	… 7
事務局だより	平成 27 年度の子どもの樹木博士認定活動の実施状況		… 8



森のエピソード (6)

— マ ツ —



森林インストラクター 小菅 智彦

マツというと、白砂青松と称される海辺のマツ、水墨画のような深山幽谷のマツ、天守閣を仰ぐ威風堂々としたマツ、山の好きな人は森林限界に生えるマツを想像するかもしれません。こうした様々な風景が思い浮かぶように、日本人にとってマツはとても親しみの深い木といえます。

マツ科の樹木は世界に約 200 種、日本にはそのうちの 22 種が自生するといわれていますが、マツ属に限ると 7 種に限られます。その代表的なものがアカマツとクロマツになります。この両者はいくつかの特徴で対比することができます。まず幹に注目してみましょう。アカマツの樹皮が赤褐色に対し、クロマツの樹皮は灰黒色で、この色の違いがそのまま名前の由来になっています。次に葉を見てみましょう。どちらも針状の葉が 2 本ずつ付く 2 葉性の構造になっていますが、アカマツの葉は柔らかく、触っても痛くありません。一方クロマツの葉はアカマツよりも太く固く、握ると痛く感じます。こうした感触の違いから、優しくしなやかなアカマツを別名メマツ（雌松）、荒々しい感じのクロマツを別名オマツ（雄松）とも呼びます。更に冬芽に注目すると、アカマツの芽鱗の鱗片は赤く、クロマツでは白っぽくなることも見分けのポイントになります。

日本ではマツは古来から神が宿る聖なる木とされ、その名も神様が降臨するのを「待つ」から来たといわれています。お正月の門松も歳神様を家にお迎えする目印で、歳神様がお戻りになる日までを「松の内」と呼ぶのもここから来ています。中国では松の字を木偏に公と分解して、「松は百木の長にして、あたかも公の如し」として威容のあるものとして称えています。

ところが、マツは広葉樹などの他の樹種が入り込んで勢いを持つと、競争に敗れて劣勢になってしまう側面も持っています。その結果、追いやられて海に逃げていったのが潮風に強いクロマツ、尾根沿いに登っていったのがアカマツ、私たちが思い浮かべる日本の原

風景はこうした生存競争の結果でもあるのです。

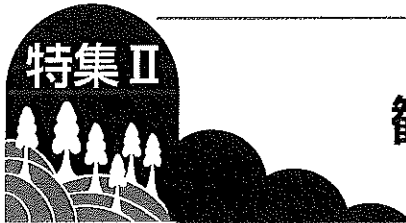
一方、海外には針状の葉が 3 本ずつつく 3 葉性のマツがあります。マツの仲間では葉が最も長い北米原産のダイオウマツや、独特の樹皮が特徴的な中国原産のシロマツなどです。また、針状の葉が 5 本ずつつく 5 葉性のマツもあります。こちらは日本にも自生し、その名もゴヨウマツ（五葉松）の他、冒頭で触れた高山帯に生えるハイマツもこの仲間です。森林が間もなく途切れる尾根など風当たりの強い乾燥したところに生え、その姿が地面を這うようにみえることからハイマツ（這松）と名付けられました。

このようにマツ属の葉は 2 葉性、3 葉性、5 葉性に分かれていますが、どれも針状の葉を束ねると丸い筒状になります。つまり 2 葉性の葉では水平な蒲鉾の底をはりあわせたように、3 葉性の葉では 120° の扇形を 3 つ束ねたように、5 葉性の葉では 72° の扇形を 5 つ束ねたように、どのタイプも 360° の円筒形を構成するので、身近なマツの葉を手にとって確かめてみましょう。

この他、カラマツはカラマツ属、エゾマツはトウヒ属、トドマツはモミ属に分類され、アカマツ、クロマツ、ハイマツのマツ属とともに日本では 6 つの属でマツ科を構成しているのです。



種差海岸のマツ（青森県）



観察会テンパリ日記 (2)



森林インストラクター 樹木医 岩谷 美苗

数年前、「おもしろ樹木を見つけよう」というプログラムを考えました。顔や動物・文字などに見える木、形が気になる木などを見つけてもらい、なぜそうなったのか解説するというものです。「木も意外とがんばっている。」と感じてもらえるプログラムだと思います。小学校でやってみると、予想以上にたくさんのおもしろ樹木を見つけてくれ、私の方が楽しませてくれました。大学生でも試すと、「イナバウワー」や「わき汗」などユニークな発見をしてくれました。

もたちを楽しんでいるのです。木を観察する子どもを、大人が観察する観察会になっていたのです。子どもは結構ちゃんと観察していて、大人を唸らせます。子どもの発想で、世界が輝く一瞬もあります。子どもと一緒におもしろ樹木を探すのは、大人や専門家ほど、より一層意外性があり楽しくなります。今だったら「おもしろい木を無理して探すことはありません。子どもが教えてくれるのを楽しむプログラムです。」と言えます。



イナバウワー



わき汗

味をしめた私は、あるリーダー養成講座で、このプログラムを紹介しようと思いました。事務局の方も賛同して下さり、やってみることになりました。

ところが、参加者のみなさんは高齢の方が多く、「なんで、そんなことしなきゃならないの?」「できません!」と拒否されてしまったのです。私はそういう反応をされるとは、まったく予期してなかったのでテンパりました。「な、なんでって、そりゃー…ええと」と、なってしまったのです。今思えば「あなたたちはリーダー養成講座に来てるんでしょ? 子ども相手のリーダーになるにはこのプログラムはとても面白いですよ。」と強く言えば良かったのかもしれません。

私はこの時、年をとると固定観念が強くなり、イメージをふくらませる作業は苦痛だということを知りました。そして、樹種がわかれば木がわかったような気がしていた自分にも気がつくことができました。同じプログラムでも対象が違うと、展開は大違いになることを痛切に体験したのです。

その後、何度かこのプログラムを行い、気づいたことがあります。大人は、「〇〇みたーい」と言う子ど



事例 報告

大人もいっしょに楽しむ —子ども樹木博士認定活動—



NPO 法人森林インストラクターしずおか 藤田 久男

(1) これまでの経緯

「NPO 法人森林インストラクターしずおか」では、平成 16 年から、静岡県立森林公園（浜松市）で、夏休みの 8 月上旬に、子どもを対象として、認定活動を行ってきました。当初は 10 人前後の参加者がありましたが、ここ 3~4 年は少なくなり（数人）、一昨年は参加申し込み者が 2 人で中止しました。

このような状況から、昨年から場所を「佐鳴湖一周ハイク」で浜松市民に親しまれている佐鳴湖公園に変更し、実施方法やテキストも一新しました。具体的には、①従来、参加者は子どもに限っていましたが、保護者はもちろん、大人だけでも参加できるようにしました、②出題樹木を 40 種から 30 種に減らして、できるだけ馴染みがあるものにしました、③テキストも平易でコンパクトなものに作りかえました。

その結果、昨年は 30 人（子ども 10 人、大人 20 人）が参加し、大人の方が多い「子ども樹木博士認定会」となりましたが、これまでと一転して盛況となりました。

(2) 参加者募集と参加者の内訳

今年も、夏休みに入ってすぐの日曜日、7 月 31 日に行うこととし、昨年と同様「保護者はもちろん、大人だけでも参加できます」をキャッチフレーズに、①ホームページへの掲載、②会員の個別的な勧誘、③ダイレクトメール、④新聞掲載の依頼（地元の 2 紙）などにより、参加者募集を行いました。その結果、参加者は 26 人（子ども 11 人、大人 15 人）で、親子が 8 組 20 人、夫婦が 2 組 4 人、友人 1 組 2 人となりました。

(3) 出題樹木 30 種の選定とテキストの作成

佐鳴湖湖岸に整備されている遊歩道沿いに生育している樹木リストを作成し、これをもとに参加インストラクター全員で検討し、出題樹種 30 種を選定しました。テキストは、ボタニカルアートの上質な会員に、手書きによるイラストにコメントを入れて作成してもらい、ネット印刷しました（A5 判、カラー、8 頁）。その結果、立派なテキストができあがり、受付時に、テキストを受け取った参加者から「すごーい」と感嘆の声があがるほどでありました。

(4) 樹木観察・試験・認定証授与

参加者を 3 班に分け、各班にインストラクターが 2 人ずつ付いて樹木観察を行いました。行程は 1.5 km、1 時間 30 分で、テキストをベースにしながら、30 種の出題木を観察しました（写真 1）。

試験は、公園内にある管理棟で行い、管理棟へ到着後 20 分の休憩と予習の時間をとって試験を始めました。机に並べた 30 種の枝葉を見て、30 分間で解答用紙に出題木の名前を書いてもらいました（写真 2）。試験の結果は次のとおりでありました。

子ども：3 段（30 問全部正解）が 5 人、2 段（20~29 問正解）が 5 人、初段（10~19 問正解）が 1 人。
大人：3 段 3 人、2 段 7 人、初段 1 人（参加者 15 人のうち 11 人が受験）。

認定証の授与は、子どもには、みんなの前で段位を発表して理事長（代理）から渡し、大人には各班の担当者から段位を発表しないで渡しました。（写真 3）

(5) 今後の課題

昨年、今年と、子どもより大人の方が多い認定活動になりましたが、親子が同じ解説を聞き、同じ試験問題に取り組むという、樹木を介して親子の会話が同じ土俵でできることは、素晴らしいプログラムだと思います。

今回は、枝葉だけで試験をしましたが、参加インストラクターから「実際の樹木を見て試験ができるという意見も出されたので、新方式に移行して 3 年目を迎える来年は、マンネリ化を回避するためにも、こういった意見について検討していくつもりです。



写真 1 樹木観察



写真 2 認定試験



写真 3 認定書の授与

樹木名の話 (2)

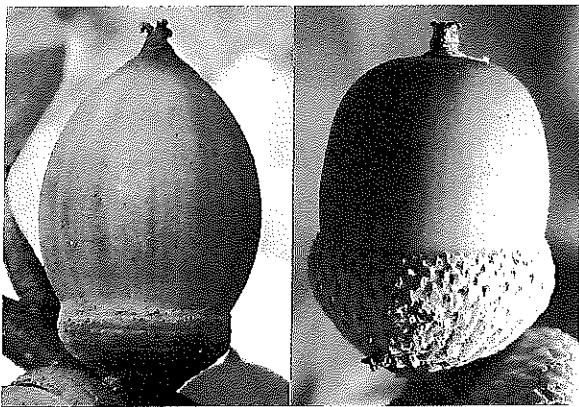
— どんぐりは帽子をかぶるか —



森林植物研究家 埜田 宏

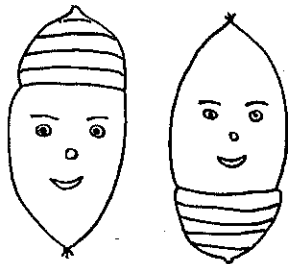
最も親しまれている木の実と言えば、「どんぐり」でしょう。愛らしい形と、大きく育つ可能性から、保育園や幼稚園などの名によく用いられています。

どんぐりは実の一部が椀状の殻斗（かくと）で包まれ、殻斗の表面が突起の集まりになっていけばナラ類、同心円状の模様に見えるのがカシ類になります。



アラカシ(左)とコナラ(右)の“どんぐり”
めしべの先が突起になって残っている

どんぐりに爪楊枝を挿してコマとしたり、大粒の実に目・鼻を描いて人形を作るなど、幼児を含めた野外観察行事に重宝します。このとき、殻斗の部分は何と呼ぶでしょうか？ 年配者は「お椀」、「皿」、「座布団」。近頃では、帽子と呼ぶ人が多くなりなした。どんぐり人形に顔を描くときに、どちらを上にするかということです（下図）。香川県のみどりづくり事業のシンボル



マークでは、殻斗から足が出ているので、座布団を通り越してパンツになっています。逆に、尖った側から足を出しているイラストも見かけます。

子供用の帽子の一つに「どんぐり帽子」があり

ます。ニット製で、頭にすっぽりかぶせ、先に突起や飾りが着いています。ネット上で検索すると多数の写真が見られ、2つの型に分類されます。一つは、円錐形で先が尖ったもの、めしべの先のような飾りがあり

ます（右の図が被る）。もう一つは平たいベレー帽、果柄のような突起が着いています。こちらは殻斗そのものを帽子に見立てています（左側の図）。

ところで、どんぐりとはブナ科の果実の総称と書いた辞書もありますが、元々はクヌギの果実を指す言葉で、大言海では、第一義を「古名ツルバミ、クヌギの実」としています。ツルバミはトチノキの実を指すこともあり、褐色で丸いところが良く似ています。

古い図鑑ではブナ科の果実のことを堅果（けんか、英語でナッツ (nut)）としていましたが、1990年に増訂された学術用語集植物学編では「殻斗果」又は「どんぐり状果」に改められました。旧版では、ナッツとエイコーン(acorn)の両方を堅果と訳していたものを、それぞれ、堅果と殻斗果に分けました。殻斗の漢字が難しい時には、クヌギのような果実という意味で、「どんぐり状果」とします。

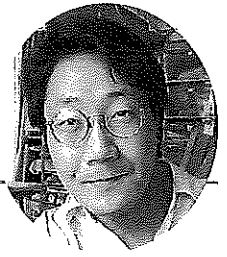
円く大きな眼を「どんぐりまなこ」と言いますが褒め言葉ではありません。昔は細い目が好まれていたためです。ツブラジイの「つぶら」も円いという意味ですが、こちらは、可愛いときに使うようです。



“どんぐり（団栗）”とはクヌギの実のこと

シリーズⅡ

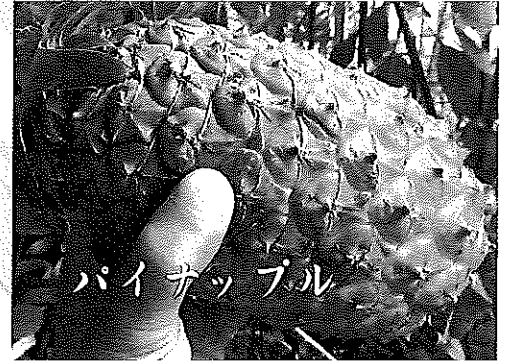
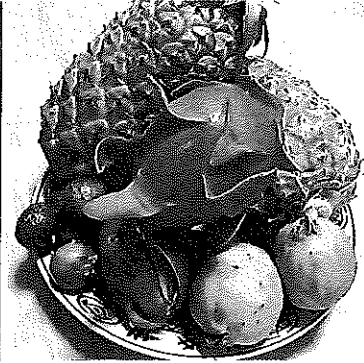
東南アジアの木々たち (32) —身近になった Tropical fruits—



自然と植物の観察会 TREECIRCLE 梅本 浩史



ドラゴンフルーツ



パイナップル

南国の果物たち。色とりどりで、形も味もさまざま

蒸し暑い日が続き、ぐったりしてしまいがちですが、南国の果物たちを眺めていると、なんだか元気が湧いてきます。色々食べてみると、甘くておいしい!! というものもあれば、うはーっ! まずい! 酸っぱすぎ!! など、美味しいものばかりではありません。(^-^)

東南アジアでよく見る果物の中には、沖縄方面で試験栽培が進んでいたり、既に出荷まで行われている南国の果物も多々あります。私が東京都内の街路樹調査に関わっていた10年ほど前、誰かが播いたアボカド

の種が、見事な大木に育っている状況を何度か目にしました。本来は、熱帯・亜熱帯に生育する寒さに弱い植物です。

清涼感のあるシャリシャリ食感のレンブも、昭和15年頃に台湾から導入され、今では沖縄で普通に見られる果物となっています。また、私もよく訪ねる宮崎県では、熱帯果樹のマンゴーが有名な特産品にまで成長しており、そのハウス栽培の歴史は、昭和50~60年頃にまで遡ります。(※品種はアップルマンゴー(アーウィン種)。)



パラミツは、ジャックフルーツとも呼ばれる

世界最大の果物が生るパラミツや、果実にタンニンを含み、干柿に似た味味のサボジラも、沖縄の一部では栽培されており、見掛ける機会があります。タイ国ではラムット、ベトナムの北部ではホンシエム、南

部ではサボチェと呼ばれるサボジラは、その樹液(植物性樹脂)からチューインガムの原料が採取されました。だから、今でも「チューインガムの木」と呼ばれています。(^-^)

子ども樹木博士質問コーナー (44)

茨城県植物園緑のインタープリター・森林インストラクター 堀内 孝雄



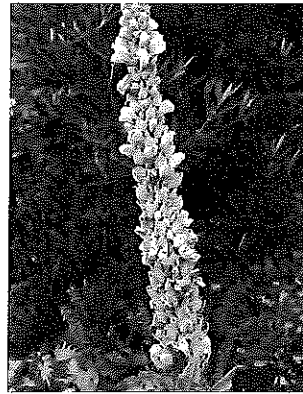
Q 庭の隅にタネを播いたわけでも花の苗を植えたわけでもないのに、珍しい植物が生えてきました。初めは、地面の上に大きな白っぽい緑の毛深い葉が出ていましたが、夏になると真中から長い茎が出てきて、先が花穂になって、黄色い花を咲かせ始めています。日本離れた大変変わった草なので何という植物か不思議に思っています。これは何という植物でしょうか。

A その植物は、帰化植物のビロードモウズイカという名の植物です。ゴマノハグサ科モウズイカ属バーバスクム (*Verbascum*) の植物で、和名をビロードモウズイカ、ハーブ名や英語名では Common Mullein、マレイン、マーレインと呼ばれます。学名をバーバスクム タプス (*V. thapsus* L.) と言い、地中海沿岸からヨーロッパ、北アフリカ、アジアに原産する植物です。古くから薬用に利用されたといわれます。

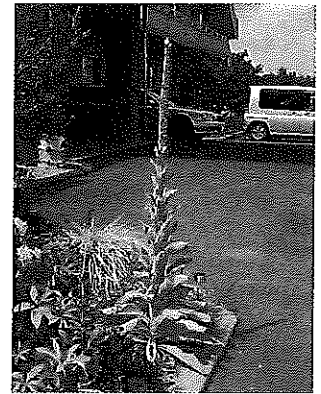
日本には、明治初期に観賞用に導入されたものが溢出して野生化したものと言われます。湯浅浩史博士は、明治時代に、ニワタバコとして栽培されていたものが、逸出して野生化したものと記しています。今では、北

海道から沖縄まで広く見られ、河川敷、土手などの荒地をはじめ、都市地域でも斜面上や石垣の隅などで目にする帰化植物となっています。

ビロードモウズイカは、大きくなる二年生の植物で、最初の年は、ロゼット状態で葉は大きく二年目には1から2mにもなる単独の花茎を伸ばします。植物の姿形が、在来の日本の植物とかなり異なるので目につきやすい植物です。花は、夜明け前に開花し午後にはしぼんでしまう一日花です。



ビロードモウズイカの花穂
ひたちなか市 2016.7.6



ビロードモウズイカの全姿
ひたちなか市 2016.8.3

Q 花屋さんで、鉢植えの「幸福の木」という名前の植物を見ました。普段、あまり見ることのない観葉植物のひとつと思いましたが、この木はもともとどこのもでどんな木でしょうか知りたいです。

A 木の種類には、いろいろのものがありますが、名前もいろいろあって、大変いい名前つけられた幸運の木もあります。「幸福の木」はまさにそうした木です。幸福の木は、南アフリカ原産のリウケツジュ科ドラセナ属の木で、緑色の葉を持つドラセナフラグランス (*Dracaena fragrans*) の枝変わりという葉の中側に黄色い中斑のある品種のマッサンゲアナを指しています。

本来の「幸福の木」は中南米原産のコルジュリネという植物のことといわれます。コルジュリネ属は、ドラセナ属と近縁のため同一視されることが多く、コルジュリネの一種の小木が、ハワイで、グッドラックブ

ランツと呼ばれたことに由来し、幸福の木と言われるものが出てきたと言われます。なお、「幸福の木」と同様にネーミングされたものに「青年の木」があります。青年の木は、中南米原産のユッカ、リュウゼツラン科ユッカ (*Yucca*) 属の木でユッカエレファンティペス (*Yucca elephantipes* R.) という木です。公園でみられる庭木のアツバキミガヨランもこの仲間ですから、かなり親しみのあるものです。「青年の木」は、葉が勢いよく上に伸びる姿を若々しい青年とイメージされ、この名が日本でつけられたものです。中南米、メキシコ、コスタリカ、北アメリカなどが原産地といわれます。

「幸福の木」や「青年の木」などと親しみやすい名前前の熱帯植物や温室植物などの観葉植物を観察して、日頃あまり目にしないこうした、植物に接し親しむことになれば、大変いいことと思います。

● ● 事務局だより ● ●

◆平成 27 年度の子ども樹木博士認定活動の実施状況

実施日	実施団体等	都道府県	募集人員	参加人員	摘要
1	27. 4. 18 (公社)高知県森と緑の会	高知県	20	7	小学生3年生以上、高知市中央公園
2	27. 4. 29 篠山市農都整備課	兵庫県	30	30	幼児・小学生と保護者、篠山市せんじゅの森
3	27. 5. 3 21世紀の森と広場「子ども樹木」認定事業実行委員会	千葉県	30	22	小学生親子、松戸市21世紀の森と広場
4	27. 5. 9,10 (一財)日本森林林業振興会	東京都	32	32	小学生親子等、東京都立白比谷公園
5	27. 5. 25 桜スクール(柳原高文氏)	栃木県	50	35	小学生、城西小中学校校庭
6	27. 5. 30 大和市自然観察センターしらかしのいえ	神奈川県	20	6	小学生、大和市泉の森
7	27. 6. 7 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター	北海道	12	12	成人、樹木博士認定常設コース(七飯町西大沼)
8	27. 6. 7 西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	東京都	35	35	小学生:東京大学田無演習林
9	27. 6. 17 白鷗大学(柳原高文氏)	栃木県	132	125	大学生、白鷗大学キャンパス
10	27. 6. 18 NPO法人森林遊びサポートセンター	北海道	30	28	小学5年生、札幌市立藤の沢小学校小鳥の村
11	27. 6. 21 (公財)旭川市公園緑地協会カムイの社公園管理事務所	北海道	15	4	小学生と保護者、カムイの社後援
12	27. 6. 27 わくわく子ども教室(川辺町:金森利廣氏)	岐阜県	20	6	山楠公園
13	27. 6. 27 パウロの森くらぶ	東京都	30	13	親子、パウロの森
14	27. 7. 4 盛岡森林管理署	岩手県	30	21	小学生岩手町子抱山風景林
15	27. 7. 5 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター	北海道	15	15	成人、樹木博士認定常設コース(七飯町西大沼)
16	27. 7. 9 オホーツク森の案内会の会	北海道	14	14	北見市立相内小学校、モイワスポーツワールド
17	27. 7. 13 オホーツク森の案内会の会	北海道	37	37	訓子府町立訓子府小学校、訓子府町レクリエーション公園
18	27. 7. 20 (公財)山梨県緑化推進機構	山梨県	15	13	小学生、河口湖フィールドセンター
19	27. 7. 25 (公財)山梨県緑化推進機構	山梨県	15	14	小学生、山梨県立武田の社
20	27. 7. 25 (国研)森林総合研究所	茨城県	60	15	小学生、森林総合研究所樹木園
21	27. 7. 26 埼玉県所沢おおぞら特別支援学校	埼玉県	20	1	埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校校庭及び教室
22	27. 7. 26 馬見自然塾	奈良県	20	16	小学生、奈良県馬見丘陵公園
23	27. 8. 1 藻岩山観光運営委員会(りんゆう観光)	北海道	30	30	小学生・大人札幌市藻岩山
24	27. 8. 1 前橋市上川淵公民館	群馬県	10	10	小学生、上川淵公民館
25	27. 8. 2 福島民友新聞社(福島森林管理署)	福島県	60	60	福島市土湯温泉町「きぼっこ」の森
26	27. 8. 2 森林インストラクターしずおか	静岡県	25	30	子ども・大人、浜松市佐鳴湖公園
27	27. 8. 2 なごや環境大学(森林インストラクター会「愛」)	愛知県	20	20	子ども・親子、東山植物園
28	27. 8. 2 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター	北海道	6	6	成人、樹木博士認定常設コース(七飯町西大沼)
29	27. 8. 9 三重県上野森林公園	三重県	12	12	子ども(保護者同伴)
30	27. 8. 11 日本大学環境教育ボランティアの会キオラ	神奈川県	30	30	小学生・中学生、小和田公民館
31	27. 8. 18 真庭森林組合	岡山県	23	23	勝山美しい森ビジターセンター
32	27. 8. 18 フェリックス練馬教室・ひよし塾(柳原高文氏)	東京都	32	32	群馬県奥利根水源の森
33	27. 8. 22 たかつき環境市民会議 里山グループ	大阪府	30	25	高槻市城跡公園、城内公民館
34	27. 8. 22 今津運動公園管理事務所	福岡県	20	20	福岡市今津運動公園
35	27. 8. 23 ふくしま県民の森フォレストパークあだたら	福島県	30	11	親子、ふくしま県民の森フォレストパークあだたら
36	27. 8. 29 東京農工大学農学部	東京都	60	60	小中学生・家族、同大学農学部構内等
37	27. 9. 6 「木の町あさひかわ」木育を進める会	北海道	20	16	上川中部森林管理署、神楽市民交流センター
38	27. 9. 6 駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター	北海道	8	8	成人、茂辺地自然体験の森
39	27. 9. 26 わくわく子ども教室(川辺町:金森利廣氏)	岐阜県	20	3	小学生、川辺町内山楠公園
40	27. 10. 4 美浜公園緑地事務所(稲毛海浜公園子ども樹木博士認定事業実行委員会)	千葉県	50	12	小学生:千葉市立稲毛海浜公園
41	27. 10. 12 公益社団法人高知県森と緑の会	高知県	20	4	小学生、高知市中央公園
42	27. 10. 17 愛鷹広域公園管理事務所・㈲日産クリエイティブサービス	静岡県	20	18	小学生2~5年、愛鷹広域公園
43	27. 10. 19 足立区立新田コミュニティ図書館	東京都	4	4	新田図書館周辺
44	27. 10. 25 三重県立熊野少年自然の家	三重県	20	20	小学3年~中学2年、熊野少年自然の家
45	27. 11. 1 西東京市「子ども樹木博士」を育てる会	東京都	29	29	小学生、東京大学田無演習林
46	27. 11. 1 とちぎ森林インストラクター会	栃木県	20	8	公園利用小学生・保護者、とちぎわんぱく公園
47	27. 11. 7 今津運動公園管理事務所	福岡県	10	10	小学生、今津運動公園
48	27. 11. 8 とちぎ森林インストラクター会	栃木県	30	26	小学生・保護者、矢板市山縣農場
49	27. 11. 13 全国森林インストラクター会広島支部	広島県	14	14	特別支援学級小学生6年生
50	27. 11. 21 大和市自然観察センターしらかしのいえ	神奈川県	20	7	小学生、大和市泉の森
51	28. 2. 19 全国森林インストラクター会広島支部	広島県	73	73	小学生、江田島市立切串小学校
52	28. 3. 19 わくわく子ども教室(川辺町:金森利廣氏)	岐阜県	20	8	川辺町中央公民館周辺
計			1,448	1,130	

(注) 1. 実施団体から事務局に報告のあったもの及び事務局で独自に把握したものである。

2. 報告等が参加者数のみの場合は募集人数も同数として整理、また、募集人数のみの場合は参加者も同数として整理している。

◆実施結果のご報告のお願い

子ども樹木博士認定活動を実施しましたら、お手数をおかけしますが、実施結果のご報告をお願いいたします。

報告用紙はホームページから Word の用紙をダウンロードできます。また、報告用紙がない場合は、①実施団体名、②実施年月日、③募集人員、④参加人員、⑤対象者(小学生、親子等)、⑥実施場所等を記載したメモを FAX 又はメールで子ども樹木博士認定活動推進協議会事務局までお送り願います。

子ども樹木博士ニュース

2016年9月1日 No.64

子ども樹木博士認定活動推進協議会

〒112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル6階
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会内
 TEL : 03-5840-7471 FAX : 03-5840-7472
 E-mail : kodomohakase@shinrinreku.jp
 URL : <http://www.shinrinreku.jp/kyokal/kodomokyou.html>
<http://www.shinrinreku.jp/kodomo-n/main.html>